告は質問討論を用ゐずして直ちに承認すべきことを要求することに満場一致決定せり

昭和四年十二月九日

大阪府支部聯合会

内務問題に関する

特別委員会

別紙（三）

脱退声明書

社会民衆党第四回全国大会は無産政党の階級性を放棄し幹部の為にしたる階級的裏切行為を公認して立党の精神を冒涜し、一切の言論を抑圧封鎖して民主々義の真髄に反逆したるものを以て、吾等は無産政党の階級使命を死守する為に茲に脱党を声明す。

理由

我等が社民党の結成に参加しその発展の為不断の斗争を続けて来たのは社民党が資本主義現段階の状勢に最も適合したからである。従って階級的展開を妨ぐる既成政党を根本より粉砕し、以て抑圧せられたる民衆の生活を解放し、地方社会進化の過程を無視する左翼勢力を駆逐する事に専心努力し来った。然るに今や吾等は愛党の精神に燃えつゝも涙を振って脱党するの止むなきに到った事情を全国の同志諸君に訴ふるものである。

我等所謂党、「大阪問題」に関し曩に労働総同盟の犯したる左翼清算の美名に隠れ闘党的精神に基く少数幹部の独裁的野望の達成を再三繰り返さざりし事を断ずる。純理と実践に基き大衆的熱望に照応する解決を為すべく全力を挙げて不当勢力の克服に努力した。然るになんぞ!!